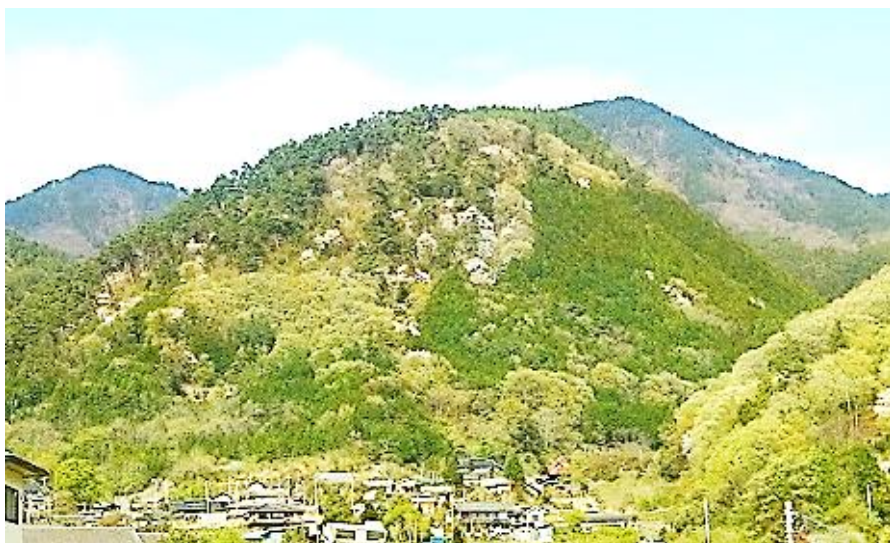


# 要害山築城500年・信玄公生誕500年記念講演会 ～要害城(本城と支城)を探る～



史跡要害山（史跡武田氏館跡の北側から撮影）



講師：山下孝司氏

武田信玄の父・信虎によって要害城が築かれて今年で500年。来年は信玄が生まれて500年を迎えます。

永正16年（1519）の開創以来、甲府は甲斐国の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。

本記念講演会では、武田氏の歴史や城館跡、文化財等を長年研究されている山下孝司氏を講師にお招きし、要害山に築かれた本城と支城について写真・絵図・文献史料とともにご説明いただきます。お気軽にご参加ください。

山梨県生まれ。琉球大学法文学部史学科卒業。韮崎市教育委員会専門監退職後、甲府市教育委員会歴史文化財課職員を経て、現在山梨大学非常勤講師。武田氏研究会事務局長。著書に『戦国期の城と地域—甲斐武田氏領国にみる城館—』、共編著に『甲信越の名城を歩く 山梨編』、論文に「躑躅が崎館における武田氏滅亡後段階の虎口」、「戦国大名武田氏と甲府—信虎、信玄、勝頼の城下町—」などがある。

令和2年10月26日（月）

◆時間：午後1時30分～午後3時30分

◆会場：甲府市総合市民会館 芸術ホール

◆定員：150人（先着順） ※参加無料

◆申込方法：10月5日（月）午前9時から電話で

★新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止します。

★マスクの着用をお願いします。



主催（申込先）：甲府市教育委員会 歴史文化財課

☎055-223-7324